

閉校式あいさつ

立春が過ぎ、本校の日本庭園にある梅のつぼみもふくらみはじめました。今年もまた希望に満ちた春が巡って参りました。いつもと同じ春の装いですが、八千代南小学校にとっては、3月31日をもって136年の歴史に幕を下ろすという大きな節目の春となりました。

閉校に先立ち、本日、T多可町長、K多可町教育長をはじめとした町幹部の皆様と同席いただき、また、ご来賓としてK多可町議会議長、O播磨東教育事務所長をはじめとして多くの皆様のご臨席を賜るとともに、子どもたち、保護者、地域、関係の方々あわせて600名をこえる皆様にご列席いただき、八千代南小学校閉校式を挙行できますこと、心より感謝申し上げます。

(パワーポイントで沿革を紹介)

- ①それでは、本校の沿革についてお話しさせていただきます。
- ②まず、児童数の推移ですが、明治12年に22名でスタートし、昭和33年に456名、今年度177名です。
- ③これが、先ほどの表を棒グラフにしたものです。昭和10年～昭和60年ごろまでは300名以上在籍して、その後児童数は減少していています。
- ④さて、本校の沿革ですが、明治4年に文部省が設置され、明治5年の学制公布により、本校区にも公立小学校の前身のぶんしょう・せいりゅう・しょうせい・下野間の4校が誕生しました。当時はまだ、公立の学校を作るだけの条件がととのっていなかったもので、とりあえず、江戸時代の寺子屋などを学校としたようです。それらの学校も明治9年に合併して本校の前身の原野小学校となり、極楽寺の伊勢和山妙壽院で授業が行われました。
- ⑤明治12年に教育令が公布され、10月1日、正式に公立の貴船小学校が誕生しました。この日から、本校の歴史がスタートすることになります。学校が存在した証しとして学校印を提示させていただいております。小学校は各3年の初等と中等、2年の高等とし、これまで1年4か月で卒業していたところを最低年限3年で卒業することになりました。貴船小学校がスタートした当時は極楽寺で授業が行われており、それから数年して現在の八千代南小学校の場所に校舎が完成したようです。貴船小学校は8年間続きました。
- ⑥明治19年に小学校令が改正され、20年に天船支校を分離して公立の貴船簡易小学校となりました。簡易小学校は修業年限が3年でした。貴船簡易小学校は4年間続きました。この間の明治22年に野間谷村が誕生しました。
- ⑦これは現存する本校最古の校舎図です。明治22年のものです。3つの教室に2つの食堂兼控え室、職員室と応接室が見て取れます。簡略化した校舎図です。平屋建て、コの字形の校舎です。明治22年当時の児童数は50名でした。
- ⑧明治23年に小学校令が改正され、簡易小学校は認められなくなり、明治24年、修業年限が3年又は4年の野間谷村立貴船尋常小学校となりました。貴船尋常小学校は明治24年から9年間続きました。明治30年には本校初代校長、笹倉長太郎先生が着任しています。明治27年には児童数99名まで増え、西の教室が2階建てとなっています。
- ⑨明治32年、小学校令が改正され、卒業試験が廃止されたり、修業年限4年の義務教育の学校がス

タートすることとなりました。これを受けて、明治33年、学校名も貴船尋常小学校から野間谷第一尋常小学校に変わりました。野間谷第一尋常小学校は8年間続きました。校長は笹倉、堀口、荒木の3名の先生が務められました。

- ⑩明治40年に小学校令が改正され、4年の義務教育、4年の高等科から、6年の義務教育、2年の高等科と制度の変更がありました。そこで、学校名も明治41年に野間谷第一尋常小学校から野間谷第一尋常高等小学校に名前が変わりました。野間谷第一尋常高等小学校は明治から昭和にかけて、33年間も続きました。校長は石野、藤田、近藤、徳平、藤本、藤原、藤井、横山、宮田、斉藤の10名の先生が務められました。明治43年には児童数が284名にもなり、コの字形の校舎の北側に平屋の校舎が増築されました。これは北側に増築された校舎が写っている明治43年当時の校舎の写真です。大正11年、コの字形の校舎が取り壊され、新しい校舎となります。大正11年当時の児童数は256名でした。大正12年には、講堂が建てられました。この講堂は昭和31年まで使われました。これが大正12年の建設途中の講堂の写真です。昭和15年には、児童数も312名となり、北校舎を解体し、2階建ての校舎が完成しました。
- ⑪昭和16年、小学校令が改正され、国民学校令と変更になりました。それに伴い、学校名も、野間谷第一尋常高等小学校から野間谷第一国民学校となりました。野間谷第一国民学校は6年間続きました。校長は斉藤、橋本、大江、足立の4名の先生が務められました。
- ⑫第2次世界大戦終了後、昭和22年、新しい憲法が施行され教育基本法が制定され教育制度が変更されました。6年の小学校と3年の中学校の義務教育がスタートしました。これを受けて、昭和22年、学校名も野間谷第一国民学校から野間谷第一小学校に変わりました。野間谷第一小学校は7年間続きました。校長は藤原、岡井の2名の先生が務められました。昭和28年には、児童数427名にもなり、南校舎を解体し、新築の2階建て校舎が完成しました。この校舎は今の校舎が完成する平成4年まで使われました。
- ⑬昭和29年、多可郡野間谷村と加西郡大和村が合併し、八千代村が誕生しました、これを受けて学校名も野間谷村立野間谷第一小学校から八千代村立八千代第一小学校となりました。八千代第一小学校は5年間続きました。校長は岡井、橋本の2名の先生が務められました。昭和31年には、新しい講堂が完成します。昭和31年当時の児童数は434名でした。講堂が完成した記念に航空写真が撮られました。奥に見えるのが昭和31年に完成した新しい講堂の写真です。手前には壊される前の古い講堂が写っています。
- ⑭昭和35年1月1日に八千代村が町制施行して八千代町となりました。これを受けて、学校名が八千代村立から八千代町立八千代第一小学校となりました。八千代町立八千代第一小学校は8年間続きました。校長は橋本、中川、小林の3名の先生が務められました。昭和37年には、家庭科室、理科室などの特別教室が完成します。昭和41年、八千代町立給食センターが完成し、完全給食が実施されるようになりました。配膳室が完成しています。
- ⑮昭和43年、学校名が八千代第一小学校から南小学校に変わりました。八千代町立南小学校は10年間続きました。校長は橋尾、木川、荒木の3名の先生が務められました。昭和44年には、八千代町ではじめてのプールが完成しました。昭和48年には航空写真が撮られています。この当時の児童数は430名でした。昭和52年には、待望の鉄筋コンクリートの図書館が完成しました。昭和52年の児童数は328名でした。
- ⑯昭和53年、学校名が南小学校から八千代南小学校へかわりました。八千代南小学校は27年間続きました。校長は荒木、益田、松本、安平、山崎、田村、宮崎、清水谷、吉田、笹倉、渡辺の11名

の先生が務められました。昭和54年には、創立100周年記念行事が挙行されました。平成5年には、校舎が全面建て替えられ、現在の新しい校舎が完成しました。当時、画期的なオープンスペースの学校に変身し、現在に至ります。

- ⑰平成17年11月、中町、加美町、八千代町の3町合併により多可町が誕生しました。これを受けて、学校名も八千代町立から多可町立八千代南小学校へ変わりました。多可町立八千代南小学校は11年間続き、校長は渡辺、宇高、横山、近藤、高見の5名の先生が務め、この3月にその歴史に幕を閉じようとしています。
- ⑱そして、平成27年、統合に備えて、大規模改修工事が行われました。すべての教室に可動式の間仕切り扉が設置され、オープン教室でも閉鎖された教室としても使用できるようになりました。また、全ての教室に換気扇と扇風機が設置され、照明もすべてLED電球化され明るくなりました。倉庫を改修して特別支援教室が一つ新設され、音楽室・理科室へのエアコンの設置、調理台の新設、理科室机の天板の貼り替えも行われました。多目的トイレが新設され、和式トイレは全て洋式トイレに変更されました。児童用シャワー室が設置され、手洗い場も改修が行われました。また、新しくエレベータが新設され、倉庫の増設、階段フロアの貼り替え、掲示クロスの貼り替えもなされました。屋根の塗り替えや校舎内外の壁の塗り替えも終わり、バスロータリーと新駐車場の建設も始まりしました。このほか、体育館天井の撤去とLED電球化、体育館ラインの引き直し、中庭の芝生の貼り替え、駐車場ラインの引き直しも行われました。
- ⑲平成27年10月31日、八千代南小学校閉校イベントが行われ、航空写真も撮りました。
- ⑳そして、本日、多くの皆さんをお迎えして、閉校式、ありがとうフェスティバルを開催できました。

私は八千代南小学校閉校の年に2度目の着任をしました。教諭として5年間、校長として1年間です。校歌にもある花なみ山や貴船の森に見守られた自然豊かで人情味あふれるこの地で働けるご縁に感謝しながら毎日を過ごしています。

子どもたちは保護者、地域の皆様方に温かく見守られながら、すくすく、のびのびと育っています。朝夕は、ささゆりサポートのみなさん、おまわりさん方に見守られながら子どもたちは安心して登下校していますし、学校で何かやろうとした際には、PTAや区長様をはじめとする地域の方々が一生涯懸命応援してくださいます。

特に今年は閉校の年で、PTAの皆様にはふだんの取組に加えて本当にたくさんの応援をしていただきました。

まずは運動会。最後の運動会ということで、3つのくす玉が登場。くす玉が完成するまで何日も何日も学校に集まっていただき、準備しておられた姿は今でも忘れられません。

次に、閉校イベント。餅つきや豚汁の準備、本日のうどんや炊き込みご飯、風船飛ばし、今月完成する閉校記念誌の編集など、PTAの皆様が何日も何日も夜に集まって企画、準備いただきました。本日、体育館ロビーの所に掲示してある八南小今昔物語もすべてPTAの皆さんの手作りです。

また、区長様、婦人会の皆様をはじめとして地域の皆様にも本当にお世話になりました。おかげで、思い出いっぱい1年になったと思っています。本当にありがとうございました。

136年続いた赤坂から下三原までの13地区の小学校としての本校が閉校する

ことは本当に残念でありませんが、この4月からは新たに、北小校区の6地区、西小校区の3地区を併せた22地区の八千代小学校として生まれ変わります。それぞれの学校のよき伝統を引き継ぎながら、切磋琢磨し、より一層たくましく心豊かでかしこい子どもたちが育っていつてくれることでしょう。八千代小学校になってもこれまで同様変わらぬご支援をよろしく願いいたします。

結びとなりますが、ここで学ばれてきた6,000人を越える卒業生の皆さん、支えていただいた、保護者、地域の皆様、伝統を支えてこられた歴代の校長先生をはじめとする教職員の皆様、本当にありがとうございました。

また、閉校にあたり、ご尽力いただいた区委員長様をはじめとする閉校記念事業実行委員会の皆様、多可町役場、多可町教育委員会、たかテレビ他、関係の皆様にも謹んでお礼申し上げ、あいさつとさせていただきます。

ありがとう、八千代南小学校！

平成28年2月6日

多可町立八千代南小学校校長 高見 英明